

## 先駆者となる

2017年3月19日(日) 午後2-4時

「生きるを考える」の集い 第十回

日曜日の午後、  
西暦一世紀の初代教会の主にある信徒の交わり、「家の教会」復興の先駆者として、  
第一歩を踏み出すにはどうすればよいのか？  
ジョン師とクリス師の日本でのミニストリーの最終回、  
お二人の情熱あふれるメッセージをお聞きください。

### 第一部

#### 語り手

ジョン・パーカー師が、『使徒の働き』の書を通して、「家の教会」復興の草分けとなるための先駆者の聖書的モデルを示していただきます。

(逐語通訳で聞いていただけます)

### 第二部

ジョン師、クリス師を囲んで、質疑応答と話し合い、交わり、祈りのときを持ちます。

---

## 「生きるを考える」の集い・シリーズ、 今日が最後です

フルダミニストリーでは、2016年5月から「生きるを考える」の集いを企画し、数学、物理学の第一線で活躍しておられる二人の英国人講師から、この世で与えられた生命、人生をいかに生きるかの貴重なお話を伺ってきました。

ジョン師、クリス師は、日本の大学、研究機関に客員教授として招聘され、大学院生、研究生を指導されるかたわら、六箇国以上の国々での学会での発表や指導にも当たられ、大変お忙しい中、私たちの集いをも導いてくださいました。今月24日、お役目を終えて、英国に帰国されます。

昨今、西暦一世紀のキリストの弟子たちの主にある交わり、「家の教会」(ローマ人16:5ほか)への動きが活発になってきていますが、聖書に則った原始キリスト信仰の復活は喜ばしいことです。お二人の日本滞在中、未信者、あるいは、所属教会のない方々を対象とした「家の教会」での礼拝が毎日曜、お二人の住まいで続けられてきました。特に、2月26日、3月5日、12日には、関心のある方すべてをお招きし、「家の教会」での主にある御交わりがどのように導かれるかを体験していただきましたが、聖霊のご臨在による一致と自由、喜びに満たされた集いとなりました。この一年の学びを礎に、引き続き私たち一人ひとりが先駆者として、この輪を広げていきたいと思っています。ご関心のある方は、ぜひご連絡ください。

---

### 講師プロフィール

クリス・ドーン 英国ダラム大学宇宙物理学教授、ブラックホール研究者  
ジョン・パーカー 英国ダラム大学数学教授

---

場所：町田市民フォーラム 4階、第一会議室 A

(東京都町田市原町田 4丁目 9-8 サウスフロントタワー町田内)

フルダミニストリー <http://huldahministry.blogspot.jp/>  
ヨシエルの会 <http://yosheru.blogspot.jp/>

スライド	概要	ジョン師	2017年3月19日(日)
1	先駆者となる <i>Pioneering</i>		
2	<p>預言のことば</p> <p>➤ 2015年3月にクリスと私は、南アフリカ共和国のクラレンスの教会聖会に出た</p> <p>そのとき、ある指導者から次の預言の言葉が与えられた</p> <p>あなたがたは先駆者である</p> <p>「あなたがたは先駆者となり、他の人たちに先駆者となることを教えるであろう」と</p>		
3	<p>預言のことば</p> <p>➤ この言葉は成就しつつある</p> <p>今年、クリスと私は、ここ日本で教会の新しい表現形態を始めてきている</p>		
4	<p>預言のことば</p> <p>➤ 今日、日本での私たちの最後の日曜日に、私たちが学んだことから少し、皆さまに伝授したいと思う…</p> <p>私たちは、他の人たちに先駆者となることをお教えしようと思う</p>		
5	<p>『使徒の働き』の書 —先駆者となるための聖書的なモデル—</p> <p>➤ 『使徒の働き』の最初には、十一人の弟子たちに加えて、幾人かのほかの人たちがいる</p> <p>この書の終わりまでに、当時知られていた世界のほとんどに、教会が設立された</p>		
6	<p>『使徒の働き』の書 —先駆者となるための聖書的なモデル—</p> <p>➤ 今日の日本の状態は、多くの点で、使徒の時代に状況が似ている</p> <p>キリスト者は小さな少数派を作り、広域に散らばっている</p> <p>しかし、神は、初代教会の時代と変わらず、ご自分の名に栄光を帰するご自分の民を今も望んでおられる</p>		
7	<p>先駆者となるための力</p> <p>ルカ 24:49</p> <p>➤ イエスは言われた</p> <p><b>「あなたがたは、いと高き所から力を着せられるまでは、都にとどまっていなさい。」</b>と</p> <p>イエスは、弟子たちを、自分たち自身の力で先駆者となるようには送り出されず、聖霊からの力を与えられた</p> <p>私たちも、自分自身の力で先駆者となろうと試みるべきではなく、神に、いと高き所からの力を私たちに着せてくださいと、願うべきである</p>		

8	<p>先駆者となるための力 使徒の働き 2 章</p> <p>➤ ペンテコステの日、聖霊が降臨され、弟子たちに力が与えられたその日、三千人の人々が加えられた</p>
9	<p>先駆者となるための力 使徒の働き 10 章</p> <p>➤ ペテロは、コルネリオと家族郎党に宣教するようと、超自然的に導かれたとき、聖霊が下られ、異邦人たちに力が与えられた</p> <p>使徒の働き 11：15</p> <p>➤ ペテロは言った 「そこで私が話し始めていると、聖霊が、あの最初のとき私たちに お下りになったと同じように、彼らの上にもお下りになった のです」と</p>
10	<p>教会コミュニティの特徴 使徒の働き 2：42-43</p> <p>➤ 「彼らは使徒たちの教えを堅く守り、交わりをし、パンを裂き、祈りをしていた。そして、一同の心に恐れが生じ、使徒たちによって多くの不思議とするしが行われた」</p> <p>使徒の働き 4：33</p> <p>➤ 「使徒たちは、主イエスの復活を非常に力強くあかしし、大きな恵みがそのすべての者の上にあった」</p>
11	<p>教会コミュニティの特徴</p> <p>➤ 上記（スライド 10）の二つの聖句に私たちは、信じる者たちのバランスのとれた共同体の構成要素を見ることができる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✧ 教え—私たちの教会生活の基盤を聖書に置くことは重要である</li> <li>✧ 交わり—お互いに調和して生きること</li> <li>✧ パンを裂くこと—私たちの救いの覚え</li> <li>✧ 祈り—神に要求を申し上げ、導きを得る</li> <li>✧ 不思議とするし —神が私たちに与えてくださった霊の賜物を用いる</li> <li>✧ 証し—私たちの体験は、力強い手段である</li> <li>✧ 恩寵（恵み）—私たちは神の好意にあずかっており、 取得しようとする必要はない</li> </ul>
12	<p>予想外のことを予期する ヨハネ 20：11-17</p> <p>➤ 「…彼女は…後ろを振り向いた。するとイエスが立っておられるのを見た。しかし、彼女にはイエスであることがわからなかった…」 マグダラのマリヤは、イエスの甦りをあわや逃すところであったマリヤは、イエスが再び甦るであろうことを教えられていたが、それは、彼女が期待したようには起こらなかった</p>

13	<p><b>予想外のことを予期する</b></p> <p>➤ 私たちが先駆者として開拓していくとき、往々にして物事は私たちが期待したようには起こらない</p> <p>私たちは、神がなさろうとされることを知るのに、固定しすぎた考えを持つべきではなく、柔軟さを持つべきである</p>
14	<p><b>予想外のことを予期する</b></p> <p>➤ クリスの研究対象にしていたX線天文衛星*が、私たちが日本に到着した日に軌道上で壊れようとは、私たちは予想していなかった</p> <p>また、私たちは、神が私たちの許に人たちを連れて来てくださることを知らなかった</p> <p>しかし、神は皆さまを集めてくださった</p> <p>皆さまはすべて祈りへの答えである</p> <p>*2016年2月に、JAXA（宇宙航空研究開発機構）が打ち上げた日本のX線天文衛星「ひとみ」、通信不能状態に陥り、4月に運用断念</p>
15	<p><b>予想外のことを予期する</b></p> <p>➤ 神のなさることを予想することはとても難しい</p> <p>私たちには、神が何をなさるおつもりなのか決して分からない</p>
16	<p><b>先駆者となる原則</b></p> <p>➤ 私たちは、先駆者となるために聖霊から力を受ける</p> <p>私たちは、神の書かれた言葉と話された言葉を通してビジョンを得る</p> <p>私たちは、神が御目的を成し遂げられるとき、自らを柔軟にして神に委ねたままにする</p> <p>そして、何よりも…</p>
17	<p><b>先駆者となる原則</b></p> <p>➤ 私たちが行うすべてにおいて、イエス・キリストご自身が働かれる余地を設ける</p>

スライド	概要	クリス師	2017年3月19日（日）
1	<p><b>先駆者となる！ <i>Pioneering!</i></b></p> <p><b>小さなグループ — 個々人よりチームのほうがもっと強力!! —</b></p>		
2	<p><b>交わり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 交わり（＝お互いを建て上げること）</li> <li>● 教会の主要な集会でより、小さなグループ設定でのほうが、往々にして最善がなされる</li> <li>● より深い交友関係を築き上げるとき</li> <li>● 私たちの人生における、より深い問題について話す場</li> <li>● 他の人たちのために、祈り/預言で霊の賜物を用い、成長する機会</li> <li>● 私たちのために、他の人たちから祈り/預言で励まされる機会</li> </ul>		

3	<p><b>どんな風にするの？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 歓迎、礼拝、言葉、働き</li> <li>● 歓迎 — 人生に関するちょっとした質問で、互いに知り合いになるあなたの家にあるもので何があなたのお気に入り？ 最近引っ越しをしたのはいつ？ 等々</li> <li>● 人間関係を築き上げる</li> </ul>
4	<p><b>礼拝</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 賛美（聖）歌は、神/イエス/聖霊のどの側面に思いをはせるのか、焦点を定めてくれる</li> <li>● 聖霊に、御働きの時と場を与える 自国語、あるいは、異言で賛美をする よく神が私たちに語られるのはそのときである</li> <li>● それが聖書的かどうかを考察する（神からの言葉が聖書に反することは決してない）聞いている人々の励ましになっているか？ この集まりで、神がしておられることに一致、関連しているか？</li> </ul>
5	<p><b>言葉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 聖書のある局面についての話し合いに焦点が置かれた質問</li> <li>● おそらく、皆が聖書、あるいは、本のある章を読む 次に、質問し、それについて話す このことについてあなたはどんな経験がある？ このことについて神はあなたの考えをどのように変えたか？</li> <li>● <b>話し合い!!</b> 教える時、場ではない その集まりを導いている人はただ質問するだけ！ しかし、指導者は、どんな類の答えを皆に答えてもらいたいかを示すため、まず自分が答えを提示する</li> </ul>
6	<p><b>働き</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● あなたの周りの人々にどのように働きかけるかについて 祈り、話す</li> <li>● あなたの話（証し） — どのようにしてイエスに出会ったのか？ 何でもそれについて、一分間でどのようにして伝えるか、を考えよう</li> <li>● テーブルの上にイエスについての本を用意して、朝のコーヒーを</li> <li>● 病院訪問、人々と親しくなる、アルファコースを始め、導く…</li> </ul>
7	<p><b>質問</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● あなたの話 — イエスとの出会いは？それを一分間で伝えよう！</li> <li>● 小さなグループの発想をあなたはどう思うか？ もうこれを、あなたは経験したことがあるだろうか？</li> </ul>